

2024年1月18日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

起業家の7割、パートタイム起業家※の9割が月商50万円未満

～「2023年度起業と起業意識に関する調査」アンケート結果の概要～

本調査では、起業した人を働く時間に応じて分析したほか、まだ起業していない人にも焦点を当てました。また、自ら事業を始めているにもかかわらず、事業経営者との認識をもたない人も、起業家と位置づけて調査しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

※本調査では、現在経営している事業に充てている時間が1週間当たり35時間未満である人を「パートタイム起業家」、同35時間以上である人を「起業家」と定義している。

<主な調査結果>

1 費用をかけずに起業した割合は起業家が3割、パートタイム起業家が半数以上(本文11ページ)

起業に当たり「費用はかからなかった」とする起業家は30.1%、パートタイム起業家は52.6%に上る(図-20)。「50万円未満」の割合もそれぞれ36.5%、35.9%を占める。

2 起業家、パートタイム起業家の多くが月商「50万円未満」(本文14ページ)

現在の月商が「50万円未満」である割合は、パートタイム起業家で92.8%と大半を占め、起業家も67.9%に上る(図-29)。現在の採算状況が「黒字基調」である割合は、起業家(69.5%)、パートタイム起業家(75.2%)ともに「赤字基調」の割合を大きく上回る(図-31)。

3 起業関心層の半数以上が「起業したい」と回答(本文18、20ページ)

起業関心層に起業の予定の有無を尋ねると、「10年以内に起業する」(15.4%)と「いずれは起業したいが、時期は未定」(36.7%)を合わせた「起業したい」が52.0%となった(図-39(1))。起業関心層がまだ起業していない理由は、「自己資金が不足している」の割合が48.8%と最も高く、「失敗したときのリスクが大きい」(32.1%)、「ビジネスのアイデアが思いつかない」(31.0%)と続く(図-41)。

* 本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

<調査の要領> ・調査時点:2023年11月
・調査方法:インターネットによるアンケート
・調査対象:全国の18歳から69歳までの人
・回収数:3万2,075人

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:青木、桑本)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー